

平成24年度 事業計画書(案)

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

1. 基本方針

東日本大震災により、中小企業は取引先等の被災による事業の停滞や自粛ムードにより販売減少等により大きな影響を受けています。

平成24年1月発表の「都内経済情勢報告」によれば、東京都内の経済情勢は、個人消費も緩やかな持ち直しの動きが続き、住宅建設は、足下で前年を上回っており、製造業の生産、雇用情勢も、持ち直しの動きが続いているとあります。しかし、中小企業、特に小規模企業者にとっては、不況感から抜け出せないというのが実態となっています。平成23年度の商工会退会者は、136件でしたが、その多くは、事業廃業が原因によるものでした。中小企業者にとっては、為替の変動や原油価格/食料価格の高騰等の経済情勢の対応とともに事業継承に絡む後継者不足が大きな問題となっています。

小平商工会では、地域の商業活動を調査し、潜在する商業ニーズ検証を行い、新たな産業振興計画を策定することで地域商業の発展と産業基盤の強化を図ることを目的とする「商業便利度向上事業」を23年度よりしています。昨年度は消費者アンケートの実施をし、今年度は事業所に対するアンケートを予定しております。また、市内経済の現状把握するため、「経済フォーラム」を実施し、市内商店会の皆様、各種業種組合、各団体のかたにご参加いただき活発な意見交換の場とすることができました。

日本における企業数は約420万社、そのうち99.7%は中小企業であり、雇用においても約70%が中小企業であり、また製造業付加価値額の半分は中小企業が占めています。

今年度も小平商工会は、会員企業の繁栄のため巡回訪問の強化に取り組み、ニーズの把握、問題解決に取り組んでまいります。そのためには東京都の「経営課題解決支援事業」を中心に、エキスパートバンク事業等専門家との連携にも努めてまいります。「コダイラブランド」事業は36点の商品サービスを選定しており、販路拡大に繋がる方策を検討してまいります。

会員事業所の皆様の発展と一助になるような事業を今年度も役職員一丸となり実施してまいります。

2. 重点事業

①東日本大震災被災地に対する継続的な支援の実施

被災地に対する商工会全組織を上げた継続的な支援の実施

②会員満足向上運動の推進

課題解決に繋がるきめ細やかな巡回訪問の実施、「コダイラブランド」事業の推進、買い物カードの検討

③小規模事業者の支援体制強化と充実

経営改善普及事業による支援、エキスパートバンク等専門家派遣、経営課題解決支援事業の推進

④商工会財政の健全化と機能的な組織の再編

会員増強の推進と効果的な事業運営

⑤行政との連携強化と効果的な地域振興策の実施

市政50周年事業、スポーツ祭東京2013、第55回花いっぱい小平大会への協力、小平市、東京都及び関係機関との連携強化と地域振興の実現